【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2000-2029(P2000-2029A)
【公開日】平成12年1月7日(2000.1.7)
【出願番号】特願平10-168345
【国際特許分類第７版】
　Ｅ０５Ｂ　49/00
　Ｈ０４Ｍ　11/00
【ＦＩ】
　Ｅ０５Ｂ　49/00　　Ｋ
　Ｈ０４Ｍ　11/00　３０１
　Ｈ０４Ｍ　11/00　３０３

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月5日(2004.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電子ロックの施錠および解除を行う電子ロック施錠・解除器と、
電子ロックの施錠および解除を許してもよい携帯電話の電話番号と、暗証コードとを対応付けて保持しているメモリとを備え、
携帯電話との間の通信手段と、
携帯電話からの着信があった場合に、発信元の携帯電話の電話番号が、上記メモリに保持されている電話番号と一致すると共に、発信元の携帯電話から送信されてきた暗証コードが、発信元の携帯電話の電話番号に対応付けて上記メモリに保持されている暗証コードと一致するか否かを判定する判定手段と、
上記判定手段による判定の結果、電話番号および暗証コードが共に一致した場合に、上記施錠・解除器に電子ロックの施錠あるいは解除を行わせる施錠・解除手段とをさらに備えたことを特徴とする電子ロックシステム。
【請求項２】
請求項１記載の電子ロックシステムであって、
発信元の携帯電話の電話番号は、携帯電話網における発信シーケンスで用いられる呼設定信号に付加されて送信され、
発信元の携帯電話から送信されてくる暗証コードは、携帯電話網におけるプッシュボタン信号として送信されてくることを特徴とする電子ロックシステム。
【請求項３】
請求項１または２記載の電子ロックシステムであって、
上記メモリに保持されている暗証コードは、通常時は、アクセス制限がかかっており、予め定めた特別の操作が行われた場合に、アクセス制限が解除されることを特徴とする電子ロックシステム。
【請求項４】
　電子ロックの施錠および解除を行う電子ロック施錠・解除器と、
　電子ロックの施錠および解除を許してもよい携帯電話の電話番号を保持しているメモリとを備え、

携帯電話との間の通信手段と、
携帯電話からの着信があった場合に、発信元の携帯電話の電話番号が、上記メモリに保持されている電話番号と一致するか否かを判定する判定手段と、
上記判定手段による判定の結果、電話番号が一致した場合に、上記施錠・解除器に電子ロックの施錠あるいは解除を行わせ、電話番号が一致しなかった場合には、上記施錠・解除器に電子ロックの施錠あるいは解除を行わせない施錠・解除手段とをさらに備えたことを特徴とする電子ロックシステム。